

IFAC理事会ワシントンD.C. 会議報告

2015年6月11日から12日にかけて、国際会計士連盟（IFAC：International Federation of Accountants）理事会がワシントンD.C.において開催された。理事会には、会長を含む23名の理事会メンバー¹及びテクニカル・アドバイザー等が参加し、日本からは海野 正専務理事（テクニカル・アドバイザー）及び筆者が出席した。以下、理事会の概要等を報告する。

1 CEOからの報告

CEOから前回の理事会以降のIFACの活動についての報告があり、リスクと統制環境の概要、重要業績指標（KPI：Key Performance Indicator）、財務業績のそれぞれの項目についてアップデートがあった。

最重要リスクについて、設定されたリスクに従前から変更はなく、KPIについては、2015年目標の進捗の説明があり、財務業績については、2015年第1四半期における年度見通しと予算との比較の説明があった。収入は予算の約1割増の29百万米ドルを見込んでいる。

その他、5月中旬にモーリシャス

にて行われた第3回アフリカ会計士会議（Africa Congress of Accountants）に、会長とCEOが参加し、ステーク・ホルダーと職業会計士の能力開発等について意見交換を行ったことが報告された。

2 ガバナンス委員会委員長からの報告

2年ごとに行われる副会長（次期会長）の選挙や理事会理事の選定の方法について、フランスのIFAC加盟団体から複数の要検討事項が寄せられたため、ガバナンス委員会で事前に策定された対応策について、本理事会で議論された。

理事会メンバーは、選考プロセスの透明性とコミュニケーションの強化を図るというガバナンス委員会からの提案を支持し、現行の定款に定める選考プロセスを変更する必要はないとした。なお、理事会メンバーの選定において、複数の理事会メンバー候補者をひとまとめにして全体として選定の可否を投票する現行の方法ではなく、候補者各人について可否の投票をすべきとの指摘に関しては、ガバナンス委員会においてさらに検討を続け、次回9月の理事会

に諮られることとなった。

その他、IFACがスイス法人であることに伴い、スイス法制上、スイス居住の役員を登記する必要があることから、IFAC加盟団体であるスイス公認会計士・税務コンサルタント協会の適切な人物をスイス連絡事務所責任者としてほしい旨の説明があった。次回9月の理事会にて、当該人物の採用の可否の審議をする予定である。

3 IFACの2016年－2018年戦略的計画

前回の理事会の後、各加盟団体に対しIFACの戦略的計画に関するアンケート調査が行われた（86団体（46.5%）が回答を提出した。）。調査結果に基づく計画・財務委員会によるIFACのビジョン及びミッションの修正や戦略的計画に盛り込むべき要素などの提案について理事会で議論が行われた。

特に、ミッションについては、公益に資するとするIFACの4つの活動の記載順序を入れ替えてはどうかという提案に対する賛否それぞれの意見など、ボード・メンバーから様々な意見が出された。

計画・財務委員会は、理事会で出した意見を踏まえて、戦略的計画の草案を検討・作成し、次回9月の理事会で当草案を審議する予定である。

4 米国証券取引委員会 (SEC: Securities and Exchange Commission) 関係者などからのプレゼンテーション

今回の理事会がワシントンD.C.で行われたこともあり、SECから主任会計士及び2人の副主任会計士を招き、優先取組事項の概要、公開社会計監督委員会 (PCAOB: Public Company Accounting Oversight Board) のこれまで10年間の活動、高品質の基準設定に必要な要素などについての説明を受けた。また、監査品質の改善を継続するには、規制当局及び監視当局は、職業会計士と協働することが重要であるという発言もあった。

このほか、ジャマイカ勅許会計士協会の会長が、協会創立から50年の

成果とジャマイカにおける職業会計士の能力向上におけるIFACの役割に関するプレゼンテーションを、IFAC理事会ボード・メンバーでもあるアジア・太平洋会計士連盟 (CAPA: Confederation of Asian and Pacific Accountants) ソウル大会実行委員長が、10月27~29日に開催されるCAPAソウル大会のプロモーションを、それぞれ行った。

5 2016年度の会費

IFACの年会費は毎年9月の理事会で承認されるが、6月の理事会で事前に各団体の分担金の見込額が示される。2016年度の会費収入は19.1百万米ドル (2015年度は17.6百万米ドル)、日本公認会計士協会の分担金は0.8百万米ドル (2015年度は0.7百万米ドル) となる見込みであり、現在の仮の計算によれば、当協会は年会費分担額の負担金額順位で5番目の団体となる。

6 その他

今回の会議は、2015年9月9日~11日にIFAC本部 (ニューヨーク) で開催される予定である。

(IFAC理事会ボード・メンバー
染葉真史)

〈注〉

- 1 日本、米国 (会長のほか1名)、カナダ (1団体から2名)、フランス、ドイツ、英国 (英国勅許公共財務会計士協会及びスコットランド勅許会計士協会代表)、アイルランド、ノルウェー (北欧諸国代表)、ポーランド (英国勅許公認会計士協会代表)、オーストラリア (2団体から2名)、インド、中国、香港、韓国、インドネシア、トルコ、ブラジル、南アフリカ、ナイジェリア、ジャマイカの各団体の代表から構成される。